

病院における事務のアウトソーシングにかかる情報提供依頼実施要領

1. 提供を依頼する情報

病院機構の本部において、人事・労務・給与や会計処理などの定例的な事務全般のアウトソーシングを検討するにあたって必要な情報

2. 現状・課題・導入目的

【現状と課題】

- ・ 当機構は県立の3つの病院を地方独立行政法人として1つの組織として設立しており、各センターにおいて、本部の人事給与事務を補完する形で「人事」「給与」などの業務の一部の機能を担っている。
- ・ 本部と各センターで重複する業務があること、各センターで同じような業務を行っていることから、現在、事務内容を精査し、本部内に「(仮称)病院機構事務センター」を設置し、業務を集約し、事務の効率化を推進することを検討している状況である。
- ・ また、機構においては、事務部門における各種システムの導入が遅れており、職員の人事・労務に関するシステムの導入を並行して進めているところである。

【目的】

- ・ 特に、「事務センター」において集約する予定の業務は定例的な事務が多くなる見込みであることから、事務処理のアウトソーシングを行うことも選択肢として考えられる。
- ・ 関連システムの導入や組織の改正なども含めた体制の構築を行うことから、病院機構におけるバックオフィスの業務全体をどのようにデザインしていくのかという視点が必要となる。

3. 委託内容の検討にあたって提供を求める情報

- ① 委託を検討している業務について、それぞれの可否や実績、懸念点、確認したいこと等を記載すること。
- ② 病院においては、医師・看護師などは個別に端末を保有していないことに留意すること。
- ③ 委託にあたっては、執務場所や最低限の備品、椅子、机等は当機構で用意するが、業務に使用する端末や当該端末と接続するプリンターは事業者が用意すること。なお、業務にあたって院内の端末やプリンターが必要な場合は当機構で用意する。
- ④ その他
システムの導入にかかるRFIも同時に行っているところであるが、SaaSで完結するシステムの導入～運用までを含めて、提携する事業者等と共同で提案し、委

託することも検討の余地があるので、可能性がある場合は提案すること。

SaaSであわせて導入を検討するシステムは、年末調整、給与明細、マイナンバー、旅費や手当、経費精算等にかかるシステムを想定している。

4. 想定業務量等

- ・ 職員数：2500名程度

病院機構は県内に3つの医療センターを有している。現在、労務・給与を行う機能が各センターに分散しているが、システム導入により、機能を本部の事務センターに集約する運用を検討しており、この本部の事務センターの業務の委託を検討している。

- ・ 開始希望時期：2026年4月以降

(4月に事務を集約化し、そこから職員から引き継ぎを受けながら夏頃に委託が開始するスケジュールを念頭においている。)

5. 提出依頼事項

- ① 事業者のパンフレットまたはサービス概要資料
- ② 対応できる業務内容
- ③ 事務の外部委託にかかる業務実績(企業規模、業種、受託規模)
- ④ 委託導入にかかるスケジュール
- ⑤ 概算見積書

年数は3年～5年程度を見込んでいるが、見積は、人数7名(うち1名を総括責任者)を想定した場合の person 費、諸経費(PC、プリンター、消耗品等)、その他とすること。

- ⑥ その他、貴社製品の強みや差別化ポイント、独自の提案等

・RFIの趣旨を踏まえたさらなる業務効率化や改善にかかる積極的な情報提供を期待する。

6. 今後のスケジュール(予定)

- ・ RFI 提出期限：2025年7月31日(木)まで

導入に際しては、費用対効果を精査の上、最速で2026年4月の導入に向け業者選定手続きを進める。

7. 提出先・お問い合わせ先

- ・ 担当部署：地方独立行政法人奈良県立病院機構

法人本部事務局 法人経営課・経営改革室

630-8581 奈良県奈良市七条西町 2-897-5

TEL 0742-81-3400

- ・ 担当者・提出先：(以下に同時で送ること)

課長補佐 山口 yamaguchi-hiroki@nara-pho.jp
人事給与係長 辻井 tsujii-hiroyuki@nara-pho.jp
経営改革係長 井手内 ideuchi-yuma@nara-pho.jp

8. その他

- ・ R F I にあたり、さらに情報提供が必要な場合は、別途個別に打ち合わせや協議を行うので上記担当へ連絡すること。